

「春夏に行う身近な木の手入れ方法」開催レポート

令和5年6月15日（ベルモント公園）、16日（生物園・元洲江公園）

講座の内容

前半の講義では、剪定方法や病害虫対策について、実演を交えて解説していただきました。

後半は剪定バサミによる「ユキヤナギ」の剪定を体験したほか、病害虫の被害の様子や樹木の生育環境などについて、講師に解説していただきながら園内を散策しました。

<講義の様子>



不要な枝の切り方や樹形の整え方について、実物の枝を使って実演していただき学びました。（生物園「会議室」にて）

<実習の様子>



ベルモント公園では、あいにくの雨模様でしたが、生物園では、快晴の下「ユキヤナギ」の剪定を体験しました。

<トピックス>



ブラシノキの種の育て方を教えて頂きました。



生物園に植えられているイヌビワの珍しい生態（イヌビワコバチとの絶対共生関係）について説明いただきました。



講師
岸本 昭雄先生

「1級造園施工管理技士」、「樹木医」としても活躍する造園技術者。造園工事や樹木等の維持管理委託業務に携わっており、平成28年頃から足立区での「剪定講習会」等の講師を務める。

専門家の講義を初めて受講し、参考と勉強になった。

（60代 初参加）

先生の剪定実演が参考になった。もっといろいろな木の剪定を見せていただきたい。

（60代 初参加）

木を切るのは楽しい。きれいに形が整うともっと楽しい。枝を手にとりて人差指を残すというのは覚えやすかった。30度の残し方がいいというのもわかりやすかった。

（50代 2回目）

参加者の声